破七宝繋丸十字牡丹紋蒔絵雛道具の内　提重・傘

企画展

姫ぎみたちの ひな道具

梅若松蒔絵雛道具の内　厨子棚飾り

平成25年2月8日(金)
－3月30日(土)

◉開館時間　10時～17時(入館受付は16時30分まで)
月曜日休館(祝日の場合は翌日)

◉入 館 料　一般500円　高校生300円　小・中学生無料
友の会会員 無料　障害者手帳提示の方・付添者 無料
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引

◉主催　林原美術館

◉後援　岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送

◉ギャラリートーク　会期中の毎週土曜日14時から学芸員によるギャラリートークを行います
(ただし3月2日はスペシャルギャラリートークを行います)

林原美術館
〒700－0823 岡山市北区丸の内2－7－15
TEL (086) 223－1733　FAX (086) 226－3089
http://www.hayashibara-museumofart.jp

企画展

姫ぎみたちのひな道具

重要文化財　綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度の内　貝桶・彩色貝

春の到来とともに、子供も大人も楽しみにしている雛祭り。お雛様を飾って子供、特に女児の健やかな成長を願う桃の節句と呼ばれるこの行事は、三月の最初の巳の日に行われた中国の古いお祓いに由来します。けがれや災いを移して川に流した「ひとがた」の人形や、赤子に病気や災いが降りかからぬよう身代わりとして枕元においた「天児」などの風習と、幼い子供がままごとの様な小さな道具を使って遊ぶ「ひいなあそび」とが混ざり合い、江戸時代には現在の雛祭りの形式になり、豪華な雛道具が飾られるようになりました。

当館では岡山藩主池田家に伝わった雛道具を所蔵しています。雛道具は大名の婚礼調度を写した精巧で愛らしい作品です。なかには姫君の実家の家紋が入った雛道具があり、池田家の歴史の一端をうかがい知ることができます。本展ではそれらの雛道具とともに、池田光政の次女、輝姫が一条家に嫁ぐ時に調えられた重要文化財の綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度とを比較してご覧頂きます。

清少納言は枕草子の中で「うつくしきもの」として「雛の調度（中略）ちひさきものはみなうつくし」と書いています。時代を超えて人々を魅了する雛道具の「ちひさきもの」と豪華な大名の婚礼調度とを、姫君たちの生活に思いをはせながらお楽しみください。

御所人形

若松剣酢漿草源氏車紋雛道具の内　楽器類（琵琶・太鼓・笙・龍笛・鞨鼓）

浮線菊菱紋蒔絵雛道具の内　御所車

犬張子

ワークショップ「貝合わせ体験」

ひな道具の展覧会に合わせ、大名の婚礼調度のひとつである貝合わせを使った日本古来の遊びの解説を行い、林原美術館ロビーにて貝合わせを体験していただきます。参加費等詳しくは美術館にお問い合わせください。

- 日時　平成25年2月17日（日）
- 講師　後楽園で貝合わせを楽しむ会の方々
- 定員　24名（要予約）

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823　岡山市北区丸の内2-7-15　TEL（086）223-1733　FAX（086）226-3089
http://www.hayashibara-museumofart.jp
＊車椅子対応の設備あります。

交通／JR岡山駅から徒歩25分／路面電車［東山行］県庁通下車徒歩7分
岡電バス［岡電高屋行］県庁前下車徒歩3分
宇野バス［瀬戸駅前行・四御神行］県庁前下車徒歩3分

次回予告　特別展「川喜田半泥子と石水博物館の名品展
―金重陶陽との交流を中心に―」（仮題）
平成25年4月26日（金）～6月23日（日）

伊勢の豪商の家に生まれた川喜田半泥子（1878～1963）は、実業家として成功をおさめるとともに、趣味として陶芸活動も行い、全国の陶芸家を支えたことでも知られていますが、備前焼の人間国宝の金重陶陽もその一人でした。半泥子と陶陽の心温まる交流や二人の作品、そしてそれらを所蔵している石水博物館の名品を一堂にご紹介します。